

令和6年8月 教育委員会会議録

〈 開会 10時00分 〉

開催日	令和6年8月23日（金）10時00分～11時30分		
開催場所	半田市役所 庁議室		
出席委員	教 育 長 鈴 川 慶 光 委 員 久 米 宏 和 委 員 堀 崎 隆 資	委 員 正 村 日 登 美 委 員 桂 優 子	
説明のため出席した職員	教 育 部 長 森 田 知 幸 主任指導主事 木 下 稔 章 生涯学習課長 青 木 美 希 スポーツ課主幹 河 合 信 二 新美南吉記念館長 遠 山 光 嗣	学校教育課長 内 藤 誠 指 導 主 事 高 下 隆 史 ス ポ ー ツ 課 長 加 藤 計 志 博 物 館 長 関 正 樹	
事務局	学校教育課総務担当主査 羽根 広		
報告事項	■議案 （1）令和6年9月半田市議会定例会提出議案について ①令和6年度半田市一般会計補正予算について ②半田市教育委員会の教育長及び教育委員の任命について ③施設管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定について ■報告事項 （1）寄附、後援願等について （2）令和6年度全国学力・学習状況調査 半田市の結果について （3）令和6年度「幸せになるための教育『半田ハッピーウィーク』」 学校公開一覧について （4）児童生徒（園児）の交通事故・問題行動等について （5）「ごんの秋まつり」について （6）各種事業について ①まちなかでアート「“あらしのよるに” 読み聞かせ&ブックトーク」 の開催について ②博物館開館40周年記念展「博物館のモノがたり」について ③「旧中埜家住宅でミニ置き畳をつくろう」について		
各課事務連絡	新美南吉記念館、学校教育課		

＜議事録＞

1. 前会の会議 録の承認	(事務局) 7月定例会の会議録について概要説明 → 承認
2. 教育長報告	(教育長) 7月の定例教育委員会から今日までの行事等について報告する。 27日に正八ちゃんの宵祭り、30日に南吉さんの日式典があった。式典は教育委員の皆さまにも来ていただいたが、一般の方もたくさん来場いただき、このイベントが定着してきたと感じた。式典は、合唱等も含めとてもよかった。今後も南吉さんを盛り上げていきたい。 8月3日、闇バイト加担防止・特殊詐欺被害防止ポスターデザインコンクールの表彰式があった。半田中学校の生徒が警察と一緒に考えて8月3日を闇バイト加担防止の日とし、その記念事業として行ったもの。キャリア教育の一環としての成果を示すことができ、子どもたちにとってもいい経験になった。こういったキャリア教育のプログラムを半田中学校以外の学校にも広げられるよう働きかけており、動き始めた学校もある。キャリア教育として、これまで主に職場体験をしてきたが、今回のように様々な方々と話をして、社会の問題点を知り、対策を考えることがとてもいい経験になっている。半田商工会議所も非常に協力的にやってくれており、去年は生涯学習課もヒガンバナのスケッチなどを一緒にやってくれた。半田商工会議所としては、去年からオープンファクトリーとして賛同した企業が事業所を公開し、「ものづくり」の現場を見学・体感できるイベントを開催しており、こういったところでも中学生とコラボできるといいとの声もいただいた。今後も子どもたちの活動の場を広げたい。 4日、半田ジュニアブラスバンドのブータン王国親善演奏旅行結団式に出席した。ブータン王国とは、愛・地球博のときフレンドシップを組んだ縁で、その後も半田国際交流協会と繋がりがあったようで、今回の演奏旅行においては、団員が10人強、うち小中学生では中学生が1人参加した。小中学生の団員が減っているようだが、部活動改革を機に増えるといい。 18日、伝統文化親子教室の一つ、煎茶道親子教室に行った。親子でお茶、お点前をやるだけでなく、伝統文化や生活文化について説明の時間もあり、いい事業だった。 22日、給食センターの竣工式を無事に迎えられた。新しい機器を導入したことにより、安全・安心で、より美味しい給食が提供できることになる。
3. 議題 ■議案 1) 令和6年9月半田市議会定例会提出議案 ①令和6年度半	(学校教育課長) 8月27日に議案上程する教育委員会所管の補正予算案となる。 学校教育課の歳出について。基金積立金1,000千円は、先に(株)久米電気商会様から頂いた寄附金を、いったん教育基金に積み立てさせていただくものとなる。 学校教育課の歳入について、教育基金寄附金1,000千円は、(株)久米

田市一般会計補正予算	電気商会様からの寄附金を、半田市歳入として予算計上処理するものとなる。 (新美南吉記念館長) 続いて、新美南吉記念館所管分について説明する。歳出について、新美南吉文学顕彰基金積立金 50 千円については、3 月に入金された中部日本書道会半田支部からの寄附であり、活用希望先である「新美南吉の文学を顕彰する事業」に将来充当するため、「新美南吉文学顕彰基金積立金」に積み立てさせていただくものとなる。 歳入について、総務費寄付金 50 千円は、ただいま歳出で説明した基金積立金の原資を「新美南吉文学顕彰基金寄付金」として収入するものである。 (教育長) 特に質問もないようなので、提案のとおりに進めてください。
②半田市教育委員会の教育長及び教育委員の任命	(学校教育課長) 教育長については、市長が議会の同意を得て任命することとなっている。本年 9 月 30 日をもって、鈴川慶光先生が任期満了となるので、その後任として、榊原雅晃氏を任命したいとするもの。 教育委員についても、教育長と同様、市長が議会の同意を得て任命することとなっている。 本年 9 月 30 日をもって、新美大委員及び桂優子委員が任期満了となるので、その後任として、引き続き、両委員に委員をお願いしたいとするもの。 なお、教育長及び教育委員の任命については、8 月 27 日に議案を上程し、同日、議決される予定となっている。
③施設管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定	(スポーツ課長) 施設管理に起因する事故の和解と損害賠償の額の決定についての専決処分の報告をする。令和 6 年 7 月 26 日に半田運動公園の第 2 駐車場付近での除草作業中に発生した車両損傷事故におけるもの。 和解と損害賠償額の決定についての内容は、本件車両損傷事故の責任割合において、半田市は損害賠償の相手方に対し修理費の全額を負担し損害賠償の責めを追うものである 損害賠償の額は 58,700 円、損害賠償の相手方は半田市在住の 70 歳代男性。詳細については、同日午前 11 時 17 分頃にスポーツ課の労務職員が草刈り機を使って植栽内の除草作業を行っていたが、その際に石が飛んで、駐車場に駐車していた相手方の車のコーナーガラスに当たり損傷させたものであり、修理費の全額を負担するものである。 通常は、駐車場付近で草刈り機の除草作業を行う場合は駐車場の使用を制限したり安全要員を配置して対策を行っているが、今回の作業現場は駐車場から約 15 m 離れており、また植栽や茂みで囲まれていたため石が飛散する可能性を予測できなかったものである。

	今後の対策として、駐車場付近での作業の際は、駐車場からの距離に関わらず、駐車場の使用を制限するか、あるいは駐車車両がある場合作業を行わないなど安全対策を実施していく。
■報告事項 1) 寄附、後援願等	(学校教育課長) ・共催 3 件 ・後援名義使用許可 15 件
2) 令和6年度全国学力・学習状況調査 半田市の結果	(主任指導主事) 令和6年度全国学力・学習状況調査(半田市の結果)について、以下のとおり報告 1 経過及び今後の予定 2 調査の目的 3 調査対象 4 調査内容 5 半田市の学力結果 6 半田市の児童・生徒質問紙の結果 7 半田市の学校質問紙の結果 8 児童生徒質問紙と学校質問紙の結果においてずれが見られる項目 9 学力向上対策
3) 令和6年度「幸せになるための教育『半田ハッピーウィーク』」学校公開一覧	(主任指導主事) 今年度は、市政記念日である10月1日(火)から10月7日(月)までの1週間、半田ハッピーウィークを幸せになるための教育強化週間と位置づけて、各校に学校公開をお願いしている。各校における今年度の学校公開日及び内容の一覧をまとめたのでご覧ください。 各校の公開に関しては、委員の皆さんにも、お時間が許せば参観してください。 (正村委員) 特に事前の連絡なしで行っていいのか。 (主任指導主事) 保護者も事前の出欠連絡等不要として自由に来るので、教育委員も特に連絡はいらない。 (桂委員) 幸せになるための教育で板書データを蓄積していると思うが、データは、このハッピーウィークの時期に多く集まるのか。 (主任指導主事) 7月5日に出席した「幸せになるための教育を実現する会議」でも令和5年度の板書データを示したが、やはりこの時期に実施したデータが多かった。

	今回、一覧を作成すると同時に、先生方に対して子どもたちが「幸せ」を感じ、「幸せ」について考える「きっかけ」となるよう多様なアイデアを期待するとメッセージも添えた。 工夫した取組みやおもしろい事例などを提供できるように検討している。
4) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等	(指導主事) 令和6年7月23日～令和6年8月22日の交通事故・問題行動等については、現時点では特に報告を受けていない。 夏休み中で学校が把握できていないことも考えられるので、来月に遡って報告することもあると思う。
5) 「ごんの秋まつり」	(新美南吉記念館長) 今年も「ごんの秋まつり」を南吉記念館、観光課、観光協会、地元自治区、各種ボランティア団体等による実行委員会の主催により実施する。 第一弾のチラシなのでまだイベント情報が入っていないが、今年も週末と祝日に南吉童話の紙芝居屋さん、22日に花嫁行列、27日～29日までハナノヒカリプロジェクトの彼岸花ライトアップ、28日に同じくハナノヒカリプロジェクトと半田商業高生のコラボ行事などが予定されている。 この秋まつりの運営は、PRや周遊バスの運行は観光課と観光協会が担当し、教育部は南吉記念館の場内を混乱なく安全に利用できるよう、全課からの応援体制のもと、駐車場整理や来場者への案内誘導に努める。
6) 各種事業 ① まちなかでアート「“あらしのよるに”読み聞かせ&ブックトーク」の開催	(生涯学習課長) 10月5日(土)に開催する親子向け観劇会「あらしのよるに」の開催に先立ち、チケットの販売促進及び作品に対する理解を深めてもらうことを目的に、読み聞かせとブックトークを開催する。どちらも「きりんの会」がお話ししてくれる。 ブックトークでは、参加した方が「あらしのよるに」を観たくなる・行きたくなるようにストーリーのあらすじや見どころを紹介する。また、「あらしのよるに」のテーマに似た作品や同作者の別作品も紹介する。 読み聞かせでは、きりんの会が制作した大型紙芝居を使って「あらしのよるに」のお話を、おもしろく楽しく展開してくれる。
② 博物館開館40周年記念展「博物館のモノがたり」	(博物館長) 博物館は、今年の10月で開館40周年を迎える。 これを記念して当館がこれまで収蔵してきた美術品、民具、考古資料などあらゆるジャンルの資料を一斉に展示する。また、過去の展示ポスターの掲示や一部の歴代企画展の紹介、(記念品の配布)なども行う。博物館40年の歴史の一部に触れることができる展示となっているので、ぜひご覧ください。

③「旧中埜家住宅でミニ置き畳をつくろう」	(博物館長) 10月27日(日)に、美浜町にて活動されている畳職人の榊原名津枝氏を講師にお招きし、縦23cm、横23cmの小さな置き畳を製作する体験講座を行う。畳は、日本の歴史的建造物とともに古くから伝わる日本の伝統建築技術であり、この講座を通し、日本の歴史的建造物やそれを護る技術を受け継いでいくことの大切さを伝えられたらと思っている。
各課からの事務連絡(1)	(新美南吉記念館長) 開催中の特別展「本に押し潰されて死ねば、本望です。～南吉と読書～」の展示解説パンフレットを配布する。 ゲーム「文豪とアルケミスト(文アル)」とのタイアップ展示で、全国の文アルファンが連日のようにお越しくださっている。先日も埼玉県から一人で来た高校生の文アルファンがいらっしゃった。 ファンは互いにX(エックス)等のSNSで情報を発信し合っているので、Xで南吉を検索すると南吉記念館を訪れた文アルファンからの投稿がたくさん上がっている。 なお、以前ご案内いたしました文アルプロデューサーと大学教授による対談講演会『『文豪』コンテンツとこれからの南吉記念館』は、24日14時から知多信本店のほしざきホールで行う。 予約制で270人定員のところ、現在220人ほど申し込みがあり、まだ余裕があるので、よろしければどうぞお越しください。
各課からの事務連絡(2)	(学校教育課長) 乙川東小学校更新に伴う「地域の未来ミーティング」について説明する。 乙川東小学校では、令和10年度の供用開始を目指して改築事業を進めている。小学校については、学校の敷地内に、公民館に代わる機能をもった地域の交流施設や、放課後の児童の居場所となる学童保育・児童センター機能を併せ持った施設の複合化を進める。 広く地域住民と意見交換をしながら改築を進めていきたいと考えており、このような地域のミーティングを開催するもの。日程はチラシに記載のとおり9月14日から始まり、今年度5回程度を予定している。会場は乙川東小学校2階図書室、時間は午前9時半から正午頃まで、定員は30名程度、対象は乙川東小学校区の住民と関係者としている。 (正村委員) 成岩小学校区で開催しているものに桂委員と一緒に何度か参加したが、とても楽しかった。いろいろな人と関わることができ、自由に意見を言わせてもらった。それがすべて反映されなくても、参加した、関わったことが今後に生きてくると思う。

教育委員からの 意 見 提 言 等 (1)	(久米委員) 新給食センターでは、実際の提供開始までに最大で何食程度試作するのか。試食会では数百食程度だと思うが、いざ2学期になって1万食を作ろうとしてうまくいくか心配している。 (教育部長) 試食会は180食×3日間で540食作る。試しに何千食をやることもできないので、試食会で、できるだけいろいろな機器を使って作るようなメニューにした。我々も不安はあるが、できる限りのことを想定して準備を進めている。 (正村委員) 調理実習室や会議室について、一般の市民はいつから、いくらで借りられるようになるのか。また、それはいつ頃に示されるのか。 (教育部長) 給食センターは9月から供用開始と謳っているので、施設を使える環境にはあるが、少なくとも給食を心配なく安定して提供できることが確認できるまでは、一般の方は利用できないと考えている。 調理実習室は、いずれ利用いただきたいと考えているが、会議室については一般の方に利用していただくかどうか決まっていない。当初から広く利用いただくことは想定しておらず、多くの方が余裕をもって利用できるほど駐車場やトイレなど充実させていない。 (正村委員) 利用できるようになったとしても、土日に利用することはできないか。 (教育部長) お見込みのとおり、施設が稼働している日である平日のみとなると思われる。平日についても、駐車場に余裕がないので大人数で利用してもらうことは難しい。バスでセンターの見学と併せて利用することを想定している。 なお、駐車場に限っては、土日に隣接するみなと公園の駐車場として開放することも検討している。 (正村委員) 夏休みに開催している親子教室のようなイベントで使うのか。 (教育部長) そうなると思う。まずはこれまでやってきたことを継続し、できることを拡大させたい。 (正村委員)
--------------------------------------	---

	例えば、夏休みだけでも子ども食堂をやりたいが場所がないと考える人がいたら、充実した施設であり使える可能性があると思った。また、部活動改革に伴って、小中学生が調理するような活動もできるかもしれない。 (教育部長) そういった使い方なら可能かと思う。
教育委員からの 意見提言等 (2)	(桂委員) 亀崎小学校について。1学期に学校訪問でさくら小学校に行き、教室と廊下の間の壁がないオープンな教室を見た。校長先生との話でも、とてもいいと聞いたが、亀崎小学校はどういう計画か。 また、放課後の児童の居場所が校内に設置されると思うが、調整に苦慮しているという話も聞いたので、運営方法や事業者のことなど、現時点で決まっていることを教えていただきたい。 (学校教育課長) 亀崎小学校についても、さくら小学校ほどではないが開放できるような壁を予定している。上部は固定の壁と窓だが、3連の可動式の扉が壁となり、今の教室のように前と後ろを出入口とすることもでき、中央を左右に大きく開くこともできる造りになる。 (桂委員) 扉については、なぜその造りを採用したのか。 (学校教育課長) 多様な使い方ができるようにと設計会社から提案があった。全国的にもこういった造りの学校が増えている。 (教育長) 知多管内でも増えている。一斉授業に限らず、いろいろな学習形態がとれることで採用する学校が増えていると思う。 (指導主事) 15年前頃から知多管内でも取り入れる学校が出ている。教室にもなり、開放的にもなることで、いろいろな使い方ができる。 (桂委員) 乙川中学校はどうして採用していないのか。他市町でも同様に小学校のみこういった造りが増えているのか。 (指導主事) 小学校に限ったことではない。中学校でも同じ流れがある。ただ、乙川中学校では採用していない。

(教育部長)

確かに乙川中学校は従来と同じ造り。規模や地域性、コンセプトの違いもあると思う。

亀崎小学校については、複合施設として児童の居場所を校内に配置するとともに、多目的室や図書室を時間帯によって放課後児童クラブ等の児童にも開放して、施設を効率的な使い方ができるようにする。

児童の居場所については、学校が終わってからそのまま放課後児童クラブが利用できたり、児童の居場所として児童センターのような機能をもったところに通えたりする。

(学校教育課長)

放課後の児童の居場所については、子ども未来部が所管となるため進捗の詳細は把握していないが、地域の放課後児童クラブ事業者と相談しながら進めていると聞いている。調整の中で課題として考えられることの1つは、セキュリティに関すること。また、共用する部屋の運用についても詰めていく必要がある。

(教育部長)

児童の居場所で苦慮していることとして考えられるのは、学校に児童の居場所ができると同時に亀崎児童センターを廃止することだと考えられる。これについては、中学生の行き場や居場所がなくなる、これまで利用していた未就学児はどうしたらいいのかなど、声をいただいている。

(正村委員)

中学生は代わりにここへ行くことができるよという場所が提案できれば大丈夫だと思う。また、跡地について心配している人もいる。乙川東小学校のような話し合いの場が設けられるといい。

(教育部長)

確かに、校舎については地域の方にも入ってもらってワークショップを開催してきたが、児童センターのことについては、ここに至るまでに地域や利用者への説明が不足していたかもしれない。ただ、8月末には亀崎公民館で説明会も開催するなど、関係する方々の意見を聞いて進めていく。

(学校教育課)

亀崎小学校の図面についてはホームページに掲載し、児童の居場所の区画も示しているので、参考にさせていただけるといい。

(堀崎委員)

亀崎小学校の特別支援学級の子どもたちについて、仮設校舎になってからすごく安定している。比較的狭い空間で、どの教室も同じレイアウト

	トということで落ち着くよう。すでに図面が引かれているとのことであり、今から変更することは難しいかもしれないが、環境が整うことで子どもたちが過ごしやすくなるため、配置や広さについては配慮いただきたい。
次回開催等	(事務局) 9月定例会教育委員会 日時：9月27日(金) 10時00分～ 場所：半田市役所4階 庁議室 (教育長) 8月定例会教育委員会を終了する。

〈 閉会 11時30分 〉